

第42回未来教室 目黒区立東山中学校

1. 学校名 目黒区立東山中学校
校長 片柳博文
2. 住所 目黒区東山1-24-31
03-3711-8794
3. 開催日時 平成25年9月14日(土)
4時間目(11:45~12:35)
4. 実施学年 2年生・3年生 各5クラス(クラス毎に実施)
対象者 365名
5. 授業内容 「生き方教室」
6. 協力企業及びテーマ
パナソニック(株) 『私の「行き方」発見』
ワタミ(株) 『「伝える」と「伝わる」～ブランドと教育の仕事紹介』
(株)ゼンショーホールディングス 『人としての生き方 ～皆さんに期待すること～』
(株)ジェイティービー 『「感動」したことがありますか?』
(株)クロノファクトリー 『好きなこと・得意なこと」を仕事にすること』
ヤマト運輸(株) 『ようこそヤマト運輸へ』
(株)幻冬舎 『ほめること・ほめられること』
インテル(株) 『コラボレーションとこれからの社会を生き抜く力について』
(株)三井住友銀行 『私の選んだ職業』 他

当日の様子



東山中学校 生き方教室(未来教室) 参観記録

おやじ日本学校と企業との連携担当 牛島 正廣

9月14日(土) 昨年に引き続いて目黒区立東山中学校で、「生き方教室」が実施された。

本校は、生徒達が「意欲的に学び 思いやりにあふれ 実践力のある生徒を育成」することを標榜し、文武両道をめざして ～かかわり～を重視した教育 を推進している学校である。

その一環として、「生き方教室」を実施して、生徒達が、ゲストティーチャーとの「かかわり」を通して、自らの生き方のヒントや糧をえる機会を設けている。その実践に「おやじ日本の未来教室」がお手伝いをさせていただいた。15学級の教室で、それぞれゲストティーチャー15人が演題に添った講話をしていただいた。当日は、授業参観日も重ねてあったので、保護者も共に教室で聞く機会になり家庭での親子の会話に広がる期待感もあった。生徒達は、どの学級でも真剣に聞き入り、講師の問いかけに懸命に答えたり、逆に質問をして興味関心を広げ、深める生徒も多数見られた。学級担任からは、ゲストティーチャーの授業の導入のうまさや映像を見せたり現物に触れさせる手法を、自分の授業にも活かしていきたいとの感想も聞かれた。

授業後に給食をいただいた後で、各講師の方から、「生徒達が真剣に聞き、興味を持ってくれて、さまざまな反応を示してくれたので嬉しかった。」という話もあった。

内容豊かで工夫された講師の方々の授業に感謝し、本校の教育活動に寄与し、子ども達の成長の一助になったことを嬉しく思った。